



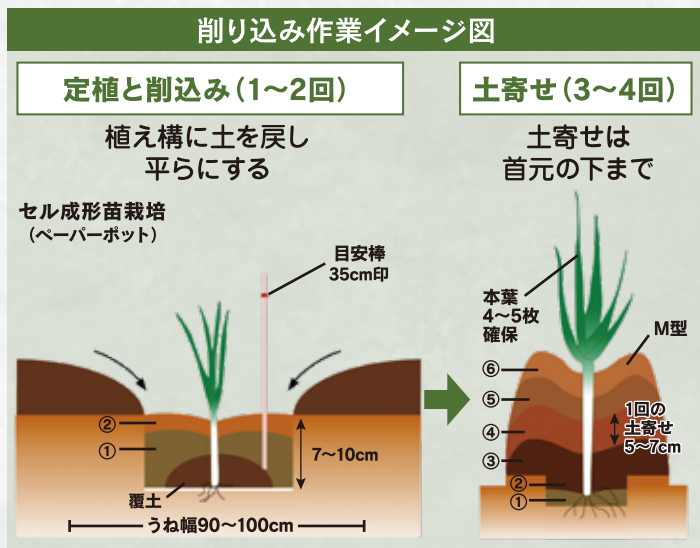
夏ねぎの管理と秋冬ねぎの作付けについて

男鹿地区営農センター 主査 工藤 亮寿

適期防除を徹底し、病害虫による収量の減少や品質の低下を防いで高収量・高品質を目指しましょう!!

●夏ねぎの管理

4月中旬頃までに定植した夏ねぎについて、削り込みの作業をお願いします。1回目の削り込みのタイミングとしては、定植後30日後頃とし葉鞘部の太さが5mm以上を基準としてください。
※こまめな土寄せはねぎの太りを妨げます。また、土を被った葉は枯れてしまうため細身の原因になりますので、過度な土寄せに注意してください。



除草剤 ※すべて収穫30日前まで

農薬名	使用量	使用方法
トレファノサイド粒剤 (乳剤)	4~5kg/10a (200~300ml/10a)	全面土壌散布
ナブ乳剤	150~200ml/10a	雑草茎葉散布 (一年生イネ科雑草)
ロロックス	75~150g/10a	雑草茎葉散布又は 全面散布

病害虫防除

被害が出てからの防除だと、薬剤散布しても思うような効果が得られないことがあります。予防という観点で早めの防除を行ってください。

区分	薬剤名	倍率及び使用方法	回数	日数	備考	分類
ネキリムシ	カルホス微粒剤F(劇)	6kg/10a	1	植付時	土壌表面散布	a
ハモグリバエ	ダントツ粒剤 (水溶剤)	3~6kg/10a (2,000~4,000倍)	4	3日前	粒剤: 株元散布 水溶剤: 散布100~300ℓ/10a	g
	アフーム乳剤	2,000倍	3	7日前	100~300ℓ/10a	j
	アグロスリン乳剤(劇)	2,000倍	5	7日前	100~300ℓ/10a	c
アザミウマ	ディアナSC	2,500~5,000倍	2	前日	100~300ℓ/10a	j
	グレーシア乳剤	2,000~3,000倍	2	7日前	100~300ℓ/10a	l
べと・黒斑病 (予防)	ペンコゼブフロアブル	500~600倍	3	14日前	150~300ℓ/10a	B
	テーク水和剤	600倍			100~300ℓ/10a	B・K
べと病(治療)	プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	3	14日前	100~300ℓ/10a	E・T
べと、黒斑、さび (治療)	アミスター20フロアブル	2,000倍	4	3日前	100~300ℓ/10a	S

a:有機リン剤、c:合成ピレスロイド剤、g:ネオニコチノイド剤、j:マクロライド系剤、B:有機硫黄材、K:ステロール生合成阻害剤、l:その他の殺虫剤、E:有機塩素系、S:ストロビルリン系剤、T:Qil剤

●秋冬ねぎの作型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
推奨品種 夏扇パワー、夏扇2号、夏扇4号 森の奏で など			定植	削り	削り	土寄	土寄	仕上げ	収穫